

24/02/05月

昨日見せてもらった時よりかなり良くなったと思います。  
気になった部分を少しだけ。

## 2手法

DM Halo →略語は避ける or 前もって定義する。  
文字が定義されていない。。  
赤方偏移のzは大文字ではなく小文字で。

(私なら..)

ビリアル半径の導出をもう少し短くして、face-on/edge-on表示の仕方にもう少しスペースを使う。  
face-on/edge-onを簡単に図示する。

## 3左下

右側の図に関して、説明を書き込むべき(文字が小さい)  
もしくは自分で描くとか。

## 3右上

-上の3図

これらの図で言いたいことは何だろう？

凡例は文字の色を変えた方がわかりやすいかも(青色の文字でFe, 緑色文字でOなど、)  
縦軸がおかしいです。

-abund ratioの図

Ne/OとMg/Oに着目した理由は？

それらの違いは？

なぜ他の元素ではなく？

あと縦軸がない

## 4議論

他のSubhaloの話を出すなら、手法のところで

4つのsubhaloについて調べた。主な結果はsubhalo 342447で示す、  
のような見通しを立てておく必要がありそう。

-Edge onの2図について

R200単位のスケール表示も欲しい(2天体でどれくらいのスケールの場所を見ているのかわからない)

-temperature map

カラーバーは共通にして、一つだけ残す。Temperature (K) を大きく書いておく。とか。